

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公開番号】特開 2001-304262 (P2001-304262A)
 【公開日】平成 13 年 10 月 31 日 (2001.10.31)
 【出願番号】特願 2000-118979 (P2000-118979)
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 33/10

F 1 6 C 17/02

F 1 6 C 17/08

G 0 2 B 26/10

【F I】

F 1 6 C 33/10 Z

F 1 6 C 17/02 A

F 1 6 C 17/08

G 0 2 B 26/10 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 14 日 (2003.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内面に動圧発生溝が構成された軸受穴と、前記軸受穴に挿入された回転軸とを備え、前記回転軸は前記軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるテーパ部を有し、前期軸受穴は前記回転軸の前記テーパ部に対向する位置に溝を設け、前記テーパ部に対向する前記溝の深さを前記動圧発生溝の深さより 0 ~ 60 μ m 大きく構成した流体軸受装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記問題を解決するために本発明の流体軸受装置は、内面に動圧発生溝が構成された軸受穴と、前記軸受穴に挿入された回転軸とを備え、前記回転軸は前記軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるテーパ部を有し、前期軸受穴は前記回転軸の前記テーパ部に対向する位置に溝を設け、前記テーパ部に対向する前記溝の深さを前記動圧発生溝の深さより 0 ~ 60 μ m 大きく構成したものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】